

2004 年度 W G 活動成果報告

(2005 年 3 月 24 日作成)

WG名	建築の色彩設計WG	主 査 名：榎 究																																																
所属委員会	光環境小委員会	委員長名：井上容子																																																
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月																																																	
設 置 目 的 各年度活動計画	建築色彩の教育・広報プログラムの作成 実務レベルで有用な色彩関連知識の集約																																																	
委員構成 (委員名(所属))	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 10%;"></td><td style="width: 10%;">1 .</td><td style="width: 60%;">飯島祥二</td><td style="width: 20%;">(岡山商科大学)</td></tr> <tr><td></td><td>2 .</td><td>石田泰一郎</td><td>(京都大学)</td></tr> <tr><td></td><td>3 .</td><td>稲垣卓造</td><td>(大同工業大学)</td></tr> <tr><td>幹事</td><td>4 .</td><td>大山能永</td><td>(大成建設)</td></tr> <tr><td></td><td>5 .</td><td>大野治代</td><td>(大手前大学)</td></tr> <tr><td></td><td>6 .</td><td>佐藤仁人</td><td>(東京電力)</td></tr> <tr><td></td><td>7 .</td><td>中山和美</td><td>(東京電力)</td></tr> <tr><td>主査</td><td>8 .</td><td>榎 究</td><td>(実践女子大学)</td></tr> <tr><td>幹事</td><td>9 .</td><td>望月菜穂子</td><td>(竹中工務店)</td></tr> <tr><td></td><td>10 .</td><td>山本早里</td><td>(筑波大学)</td></tr> <tr><td></td><td>11 .</td><td>宮本雅子</td><td>(滋賀県立大学)</td></tr> <tr><td></td><td>12 .</td><td>井上容子</td><td>(奈良女子大学)</td></tr> </table>			1 .	飯島祥二	(岡山商科大学)		2 .	石田泰一郎	(京都大学)		3 .	稲垣卓造	(大同工業大学)	幹事	4 .	大山能永	(大成建設)		5 .	大野治代	(大手前大学)		6 .	佐藤仁人	(東京電力)		7 .	中山和美	(東京電力)	主査	8 .	榎 究	(実践女子大学)	幹事	9 .	望月菜穂子	(竹中工務店)		10 .	山本早里	(筑波大学)		11 .	宮本雅子	(滋賀県立大学)		12 .	井上容子	(奈良女子大学)
	1 .	飯島祥二	(岡山商科大学)																																															
	2 .	石田泰一郎	(京都大学)																																															
	3 .	稲垣卓造	(大同工業大学)																																															
幹事	4 .	大山能永	(大成建設)																																															
	5 .	大野治代	(大手前大学)																																															
	6 .	佐藤仁人	(東京電力)																																															
	7 .	中山和美	(東京電力)																																															
主査	8 .	榎 究	(実践女子大学)																																															
幹事	9 .	望月菜穂子	(竹中工務店)																																															
	10 .	山本早里	(筑波大学)																																															
	11 .	宮本雅子	(滋賀県立大学)																																															
	12 .	井上容子	(奈良女子大学)																																															
設置 SWG (WG名:目的)	<p>色彩と明視性SWG</p> <p>色彩計画を明視の観点から考え、設計するための資料の提案を最終目的とし、先行した2年間(2001.4~2003.3)の活動をさらに発展させ、色彩の明視効果を評価する方法を策定した上で、実態調査の結果に基づいて色彩環境の実態とその明視性を把握し、明視性の観点からの色彩計画の現状とその問題点を明らかにする。</p>																																																	
2004 年度予算	45,000 円																																																	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第1回 2004/6/16 : 8名 第2回 2004/8/29 : 10名 第3回 2004/9/24 : 7名 第4回 2004/12/20 : 6名 第5回 2004/3/10 : 7名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>本 WG の主たる活動は、建築系の学生向け色彩設計教育プログラムの開発であった。昨年度の活動において、その全体構成を練り、今年度はプログラムの中核を為す3つのユニットについて、教材の作成を行った。その3つとは、環境色彩調査、インテリアの色彩設計、エクステリアの色彩設計である。</p> <p>第2回の会合で中間的な成果を発表しあい、その後はディスカッションの結果を踏まえて、細部を詰める作業を行った。また、委員が実際に授業を行い、その有効性を確認すると共に、感じられた問題点も公開・共有し、それを教材づくりに反映させている。</p> <p>最終成果物は、各ユニット担当者から3月中に主査の元に集められ、CD-ROM化した後、WG委員に配布して最終チェックを行う。その後、光環境小委員会傘下のWG、SWG所属の委員からの希望があれば、それを配布する予定である。</p>

	委員会 HP アドレス :
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) すぐにでも授業が実施できるレベルの教材を作成できたことから、当初の目標は、ほぼ達成したと考える。 なお、並行して開催を模索していたシンポジウムに関しては、来年度設置が決まっている「建築空間の質感・色彩設計法小委員会」で、引き続き検討する。
その他評価すべき事項	